

## 後期分授業料免除申請確認書

香川大学長 殿

西暦 年 月 日

私は、下記の内容を確認し、**経過措置による後期分授業料免除**の支援を希望します。  
※該当する□を塗りつぶしてください。

**(新制度「給付奨学生」に採用されている者)**

- 現在、高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構）給付奨学生に採用されており、対象外または支援額が減少する場合には、経過措置による支援を希望します。

**(今年度前期において新制度「在学採用」に申請したが、不採用となった者)**

- 家計基準を満たさなかったため不採用となった  
 後期の新制度「在学採用」へ申請予定である。  
 進学資金シミュレーションの結果、基準を満たさないため後期在学採用に申請しない  
⇒ **進学資金シミュレーションの結果を提出してください。**
- 学力基準を満たさなかったため不採用となった。  
⇒ **給付奨学生の選考結果通知文書のコピーを提出してください。**

**(新制度「在学採用」に新規で申請予定の者)**

- 高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金「在学採用」）に申請予定ですが対象外または支援額が減少する場合には、経過措置による支援を希望します。

**(新制度に申請できない者)**

- 下記理由により高等教育修学支援新制度に申請できないため、経過措置による支援を希望します。  
 大学等への入学時期等に係る要件を満たさないため  
 家計に係る基準（資産基準）を満たさないため  
 進学資金シミュレーションの結果、家計に係る基準（収入基準）を満たさないため  
⇒ **進学資金シミュレーションの結果を提出してください。**  
 その他（ ）

**(全員に確認)**

- 高等教育修学支援新制度の申請資格があるにも関わらず、申請しなかった場合は、経過措置支援の対象者にならないことを了承しています。

申請者	所属	学部	学科 課程	年次
	氏名	<b>(申請者本人が署名)</b>		
	現住所	〒( ) ( ) ( )	TEL.( ) ( ) ( )	-

2022年4月2日以降の家庭状況について、2022年度前期分の申請内容から

- 変更事由はありません。**
- 変更事由があります** ⇒ 「様式0 変更事由申立書」及び関係書類を提出します。

**【変更事由例】****世帯状況の変更**

- ・ 世帯の構成員に増減があった
- ・ 世帯の構成員が新たに障害者認定・取り消しを受けた
- ・ 通学区分の変更があった（兄弟姉妹を含む）、就学者の増減があった
- ・ 長期療養者（介護認定者）の直近1年間の療養費自己負担額から10万円未満を切り捨てた金額に変更がある。又は、長期療養を終えた

**学資負担者（独立生計者・留学生の場合は申請者および配偶者）の収入状況の変更**

- ・ 就職・転職・退職した（給与の増減の場合は変更事由になりません）
- ・ 雇用形態が変わった（パートから正社員に変更等）
- ・ 事業所得、不動産所得、農業所得、雑所得を得る事業を開始・終了した
- ・ 年金、恩給の受給を開始・終了した
- ・ 雇用保険（失業給付）、傷病手当金の受給を開始・終了した
- ・ 児童扶養手当の受給を開始・終了した
- ・ 生活保護の認定を受けた・取り消しになった
- ・ 親戚・知人からの援助が開始・終了した

**その他**

- ・ 申請の取り下げ（後期は経過措置を申請しない）

## 後期分授業料免除申請確認書

## 記入要領

西暦 年 月 日

香川大学長 殿

私は、下記の内容を確認し、経過措置による後期分授業料免除の支援を希望します。  
 ※該当する□を塗りつぶしてください。

提出日を記入する。

## (新制度「給付奨学生」に採用されている者)

- 現在、高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構）給付奨学生に採用されており、対象外または支援額が減少する場合には、経過措置による支援を希望します。

## (今年度前期において新制度「在学採用」に申請したが、不採用となった者)

- 家計基準を満たさなかったため不採用となった  
 後期の新制度「在学採用」へ申請予定である。  
 進学資金シミュレーションの結果、基準を満たさないため後期在学採用に申請しない  
 ⇒ 進学資金シミュレーションの結果を提出してください。  
 学力基準を満たさなかったため不採用となった。  
 ⇒ 給付奨学生の選考結果通知文書のコピーを提出してください。

## (新制度「在学採用」に新規で申請予定の者)

- 高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金「在学採用」）に申請予定ですが対象外または支援額が減少する場合には、経過措置による支援を希望します。

## (新制度に申請できない者)

- 下記理由により高等教育修学支援新制度に申請できないため、経過措置による支援を希望します。  
 大学等への入学時期等に係る要件を満たさないため  
 家計に係る基準（資産基準）を満たさないため  
 進学資金シミュレーションの結果、家計に係る基準（収入基準）を満たさないため  
 ⇒ 進学資金シミュレーションの結果を提出してください。  
 その他（ ）

## (全員に確認)

- 高等教育修学支援新制度の申請資格があるにも関わらず、申請しなかった場合、経過措置支援の対象者にならないことを了承しています。

申請者本人が自筆で署名する。

申請者	所属	学部		学科 課程	年次
	氏名	(申請者本人が署名)			
	現住所	〒( ) ( ) ( )	TEL	住所は住民票の住所ではなく、実際に居住する現住所を記入する。 下宿先が未定の場合は、「〇〇市内に下宿予定」等の説明を追記する。	

2022年4月2日以降の家庭状況について、2022年

- 変更事由はありません。

- 変更事由があります ⇒ 「様式0 変更事由申立書」及び関係書類を提出します。

## 【変更事由例】

## 世帯状況の変更

- ・ 世帯の構成員に増減があった
- ・ 世帯の構成員が新たに障害者認定・取り消しを受けた
- ・ 通学区分の変更があった（兄弟姉妹を含む）、就学者の増減があった
- ・ 長期療養者（介護認定者）の直近1年間の療養費自己負担額から10万円未満を切り捨てた金額に変更がある。又は、長期療養を終えた

## 学資負担者（独立生計者・留学生の場合は申請者および配偶者）の収入状況の変更

- ・ 就職・転職・退職した（給与の増減の場合は変更事由になりません）
- ・ 雇用形態が変わった（パートから正社員に変更等）
- ・ 事業所得、不動産所得、農業所得、雑所得を得る事業を開始・終了した
- ・ 年金、恩給の受給を開始・終了した
- ・ 雇用保険（失業給付）、傷病手当金の受給を開始・終了した
- ・ 児童扶養手当の受給を開始・終了した
- ・ 生活保護の認定を受けた・取り消しになった
- ・ 親戚・知人からの援助が開始・終了した

## その他

- ・ 申請の取り下げ（後期は経過措置を申請しない）